

## 1 事業概要

地域課題の解決やまちづくりの担い手である若者の「自分づくり」を社会教育的なアプローチを生かして支援すると共に、若者の学びの成果を生かした地域づくり活動等への参画を促進することにより、さまざまな人々と協働しながら身近な地域をより良くすることへの関心を高め、社会・地域の一員として自発的・主体的に行動できる人づくりを推進することをねらいとして事業を展開しています。泉区内に通学している大学生を中心とした参加者が地域の現状や課題について考え、学生の自由な発想で地域創造に向けて取り組みたいことを企画し、実施しています。

## 2 令和5年度の活動

今年度は、活動の目的や現状把握、方法立案を改めて検討するところからスタートし、東北学院大学移転に伴う若者の減少と世代間交流の希薄化を課題として、「魅力UPで人が集まる活発なまち！」をテーマに活動しました。若者を呼び込むために、泉区の魅力をリサーチし、SNSと情報誌の両面で情報発信することを目標として、月1回程度の定例会のほか、地域の気になるお店を訪問してインタビューするフィールドワークを3回行いました。また、根白石市民センターを訪問して、若い世代の交流と地域コミュニティの活性化を図る事業についての説明を聞いたり、J:COM仙台を訪問して、泉中央の飲食店を盛り上げる情報発信をしている「仙台IZUMIフードリンククラブ」の取組についてお話を聞いたりして、自分たちの活動につながる学びを深めてきました。



## 3 成果と課題

活動の目的を皆で明確に共有し、軸をしっかり持って活動することができました。根白石市民センターの館長のお話は、思いを直接伝えて人とつながること、徹底したリサーチ活動、自ら行動することなど、ICPの活動のみならず、今後の人生においても大事なことをたくさん学ぶことができました。J:COM仙台訪問では、「仙台IZUMIフードリンククラブ」の団体立ち上げからの経緯や情報発信の方法等、今後の自分たちの活動の参考になるお話をいろいろ聞くことができました。フィールドワークでは、店長さんの熱い思いに触れることができ、インターネットの情報では得られないその店の魅力を感じることができました。また、インタビューを通してコミュニケーションの取り方や情報収集等の実践力を磨くことができました。一方、アポイントを取ったり、インタビューの内容や方法を打合せしたりする事前準備が不足したことに気付いたので、今後の活動に生かしていきたいと思います。

## 4 今後の展望

今後は、若者に向けて泉区の魅力を発信するために、フィールドワークの情報を整理し、情報誌とSNSの両面からの発信方法を検討していく予定です。また、現在のメンバーのほとんどが大学4年生であるため、来年度のメンバー確保に向けて、これまでの活動の様子をリーフレット等にまとめ、泉区内各大学等でのPR活動にも取り組んでいきたいと考えています。

